

症例

1

高血圧 糖尿病 69歳 女性

高血圧，糖尿病，高脂血症で近くの内科に通院中である。降圧剤，血糖降下剤，スタチン製剤を服用していた。最近，頭痛がすることが多くなったという訴えで来院された。

X年3月(初診)：身長153cm，体重60kg(20歳のときは52～53kg)で初診時のHbA1c 7.3%であった。自覚症状は，暑がり，手足の冷えなし，汗をかきやすい，咽が乾く，食欲は良好で眠れる，便通も良く小便は日中に6回，下肢浮腫なし，ということであった。脈は浮沈間・強弱間で，舌は暗赤色で薄い白苔を被っていた。腹力中等度で両臍傍に圧痛がみられた(図1)。



症例1 (図1)

いわゆる生活習慣病のデパートである。まずは，**防風通聖散 3.0g+通導散 2.5g+桂枝茯苓丸 3.0g**分2を処方した。

処方

防風通聖散 3.0g

通導散 2.5g

桂枝茯苓丸 3.0g

7日後：「下痢したので，漢方薬は1日1回にしている」という。

14日後：「便通は軟らかくなり、しっかりと出る。頭痛は起きなくなった」という。

42日後：「内科の薬は続けている。体重が少し減ってきた(58～59kg)」という。

2ヵ月後：「体重が3kg減ってきた。内科の薬を全てやめた」という。血液検査ではHbA1c 6.5%と改善していた。

3ヵ月後：「体重56kgとなった。あれだけ色々したけど痩せなかったのに嬉しい。便通も良い」と喜ばれる。同処方継続とする。

comment

脂肪太りした肥満体で、顔色はやや赤黒かった。腹部の皮膚は色白で柔らかく、ぼつりとしていた。瘀血と診断して**通導散**＋**桂枝茯苓丸**を用いることにした。なお、一貫堂医学の臟毒証体質を兼ねていることから**防風通聖散**を合方した。予想以上に下痢をするため、患者の自己判断で1日1回しか服用しなかった。しかし徐々に体重は減少し、降圧剤や血糖降下剤を中止しても血圧と血糖は順調に低下した。漢方薬の有効最適量は様々である。山本巖は、「漢方エキス製剤の場合は、最低でも1回に5.0～10.0gを使用すべきである」と述べている。確かに多くの量を用いなければ効かない者もいるが、少量で効く症例のあることも事実である。特に**大黃**を含む製剤を用いる場合は、1日に2～3回くらいの軟便になるように服用量を指示するとよいと考えている。

(症例&comment: 木村豪雄)